

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2005年5月24日

2005年5月22現在：

5月22日に終わる週に於いても前週に引き続き、各地に降雨が有った。Spokane 郡の1部では雹が降り作物に被害が生じた。気温は平年より低く、州東部平原の最高気温は64~74度であった。平均気温は平年を3~5度F下回った。1週間の州平均農作業稼働日数は3.5日(前週：4.6日)であった。1週間の降水量は、Ritzvilleで1.13インチ、Whitman 郡並びに Walla Walla 郡では約1インチ、Spokane 郡では1インチ以上であった。降雨は小麦の生育に有効であったが、薬剤散布、追肥作業が遅れた。湿潤・低温気象の為小麦の黄さび病 (strip rust)、赤銹病 (leaf rust) が発生し小麦への薬剤散布が出来ず病害の蔓延の恐れが出て来た。

冬小麦は平年より早い生殖成長を示し、全体の35%が出穂した。冬小麦の作柄は多少評価が落ちた圃場も出た。全体には前週と余り変わらない評価であった。春小麦の播種は完了し、97%で出芽した。春小麦の作柄は前週より更に改善した。土壌水分が現状を保てば、良好な単収が見込まれる。

5月1日付け USDA の冬小麦生産量予想では、単位収量は昨年実績の 67.0bushel/acr より多少良い 68.0bushels であった。詳細は別表の通り。

土壌水分及び灌漑用状況 : 5月22日現在

	Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil (%)	1	8	78	13
5-Yr Ave.	3	18	76	4
Subsoil (%)	7	32	60	1
5-Yr Ave.	2	24	74	1
Irrigation W.	5	10	85	0
Irr. Water Ave	0	3	96	1

Ave. means 5-year average

小麦の生育状況 : 5月22日現在

	This week	Last week	2004	5-yr. Ave.
Winter Wheat Headed (%)	35	29	25	20
Spring Wheat Emerged (%)	97	82	99	95
Headed (%)	6	4	4	2

小麦の作柄状況 : 5月22日現在

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter Wheat Dryland (%)	0	3	23	60	14
Irrigated (%)	0	0	4	76	20

Spring Wheat					
Dryland (%)	0	1	28	64	7
Irrigated (%)	2	1	11	78	8

Source : Washington Agricultural Statistics Service, USDA

5月1日付け USDA 冬小麦生産量予想 :

State	Harvested Area 1,000 Acres		Yield Bushels/acre		Production 1,000 Bushels		
	2004	2005	2004	2005	2003	2004	2005
WA	1,750	1,850	67.0	68.0	117,000	117,250	125,800
USA	34,462	35,069	43.5	45.4	1,716,721	1,499,434	1,590,862

当該作柄・気象レポートに関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃 : <mailto:ogawa.max@omicnet.com>